

年頭の あいさつ



豊山町議会議長
坪井 孝仁

あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、能登半島の震災から始まり、今なお復旧がままならない状況にあることは、地震大国日本での防災、減災対策の困難さを物語っているように感じます。

また、町議会では、開かれた議会を目指し、議会中継や子ども議会を開催するとともに、町民体育大会に「チーム議会」として参加するなど、地域の皆様と共に町を盛り上げるために取り組んでまいりました。

一方、全国的には、地域の舵取り役を決める「選挙の年」であり、SNSを活用した選挙の在り方について深く考えることが多くありました。そして、本町におきましても、変革の年となりました。

本年は、いよいよ高齢化が顕著となる2025年となります。また、本町では老朽化した施設への対応が重要な課題となります。

そのような中、町議会は、町民の皆様の意見を町政へ反映させると同時に、議決機関としての重要な役割を担っています。各議員がこれまで培ってきた町の政策、財政に関する知見を発揮し、住みたい、住み続けたいと思える町づくりに向け、議員一同、全力で取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解とお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、実り多き年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年元旦

新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。
新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、「ジブリの大倉庫」「青春の丘」「どんどこ森」「もののけの里」に続き、「魔女の谷」が誕生し、「ジブリパーク」がフルオープンしました。

そして、10月には、2019年の構想発表から5年をかけて整備してきた、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION A」がグランドオープンを迎えました。

世界中から注目を集める2つの施設の完成により、新たなステージへ、また一歩、大きく歩みを進めることができました。

今後も、これらの施設を起点に、世界中から、たくさんの人、最先端の技術・サービスを呼び込み、愛知をさらに元気にしてまいります。

さて、今年7月、いよいよ、アジア最大級・世界最先端のスマートアリーナ「IGアリーナ」がオープンします。スポーツやエンターテインメントの新たな拠点として、「ジブリパーク」や「STATION A」との相乗効果を生み出しながら、世界と大交流する愛知を創り上げてまいります。

また、愛知万博20周年となる今年は、3月25日に「愛・地球博20祭」が開幕します。「ジブリパーク」ともコラボレーションしながら大いに盛り上げてまいりますので、ぜひ、楽しみにしていただきたいと思っています。

2026年の「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後も、愛知を元気にし、日本を元気にするプロジェクトが続きます。

グローバル化の進展やAI等のデジタル技術の急速な発展など、世界が大きく変化する中、今後も、これらのビッグプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和7年元旦